

後援会だより

「子どもの母校は我が母校」
「後援会だより」は後援会が保護者の皆さまと作るページです。

2017年度支部総会・父母懇談会総括



後援会会長 中 和夫 (祥太郎/スポーツ健康学部)

7月8日(土)の秋田県支部を皮切りに、全国36カ所で開催された「2017年度後援会支部総会・父母懇談会」。8月27日(日)をもちまして全支部、盛会裏に終わることができました。「支部総会・父母懇談会」は、後援会にとって、年間を通じて大変重要な大きな行事です。開催するに当たり、各支部長・役員・幹事の皆さまには、お忙しい中またお暑い中、準備も含めてご尽力いただきましたこと、ここに感謝を申し上げます。ご出席くださいました父母の皆さまには、法政大学の「いま」と後援会の活動内容を、ご理解いただいたことと思

います。本年度は新たな取り組みとして、周年を迎えたいくつかの支部において、田中優子総長による「グローバルゼーションと江戸時代」というテーマでの公開文化講演会も同時に開催し、法政大学卒業生や地元の高校生、一般の方々にも多数お越しいただきました。この講演会は、法政大学と、卒業生で組織されている校友会、そして後援会が力を合わせて取り組んだ、初めての文化事業でした。各支部の総会・父母懇談会、その後行われた懇親会の内容につきまして、後援会ウェブサイトに掲載させていただきますので、ぜひご覧ください。最後になりましたが、本会開催に当たり、大学の教職員の皆さまにもご支援いただきましたことを心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



田中総長による50周年記念講演会では、「グローバルゼーションと江戸時代」というテーマで、江

7月9日(日)、青森市のホテル青森にて、支部総会・父母懇談会および50周年記念講演会を開催。田中優子総長、中 和夫後援会会長を含め、大学からは9人の方々にご出席いただきました。総会の議事は全て承認され、新しく選任された役員に確かに「たすき」が渡ったと感じています。田中総長からの退任役員への感謝状には、全役員感激していました。

戸時代の人々はそのように世界とつながり、独自の文化や技術を発展形成していったかという考察が語られ、大変興味深く拝聴しました。青森県校友会、後援会支部元役員、法政大学への進学を目指す高校生も参加して、聴き入っていました。



懇親会では、田中総長との記念撮影で賑わい、余興の津軽三味線演奏、ねぶた囃しの太鼓なども楽しんでいただけました。最後は、鍵盤ハーモニカ生伴奏による校歌斉唱とエールの声で、無事閉会しました。こうして後援会活動をつつがなく終えることができたのも、共に活動し、支えてくださった役員の方々の皆さま、後援会本部のおかげと感謝しています。

青森県支部長 齋藤 聡 (真澄/経営学部)

青森県支部総会50周年記念事業を終えて

沖縄県支部設立20周年記念講演会と総会・父母懇談会を終えて



沖縄県支部長 具志堅 剛 (旭/社会学部)

1997年8月に、後援会本部の強い支援を受けて立ち上げた後援会沖縄支部は、今年20周年を迎えました。この度、7月28日(金)、29日(土)の2日間の日程で、ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービューにて周年記念行事、ならびに支部総会・父母懇談会を開催しました。

抜く実践知」など、数多くのプログラムが予定通り行われ、スムーズに終了しました。その後に行われた記念懇親会は、役員による「かぎやで風」という沖縄伝統の踊りで幕を開けました。歴代の支部長や役員の方々も参加され、会を盛り上げてくれました。ご多忙にもかかわらず、田中総長と中和夫後援会会長をはじめ、多くの大学関係者と後援会の方々、そして安次嶺院沖縄県校友会会長を含めた多くの校友会の方々、両日とも出席ください、激励のお言葉をいただきました。感謝申し上げます。



東海支部長 三浦 紳太郎 (浩太郎/法学部)

東海支部総会・創立30周年記念事業を終えて

8月6日(日)、名鉄グランドホテルにて東海支部の支部総会・父母懇談会・創立30周年記念事業を開催しました。当日は田中優子総長、中和夫後援会会長をはじめ校友会の方々にも足を運んでいただきました。退任役員への感謝状贈呈は、毎年見ている側でしたが今年はいただく側になり、時の過ぎるのは早いものだと思感させられました。

由を生き抜く実践知、長期ビジョン(HOSEI2030)について」という演題での田中総長による記念講演でした。分かりやすい言葉での話で、あつという間の1時間でした。懇親会では、田中総長の周りには人が途切れることなく、会話や記念撮影に快く応じておられました。締めは現役応援団の登場。明治神宮野球場とは違い、間近で見る演武は迫力十分で感動しました。最後に、輪になっての校歌斉唱でお開きとなりました。



とで、進学の希望をさらに強く深めた学生もいたようです。翌29日の支部総会・父母懇談会、田中総長の講演「自由を生き

抜く実践知」など、数多くのプログラムが予定通り行われ、スムーズに終了しました。その後に行われた記念懇親会は、役員による「かぎやで風」という沖縄伝統の踊りで幕を開けました。歴代の支部長や役員の方々も参加され、会を盛り上げてくれました。ご多忙にもかかわらず、田中総長と中和夫後援会会長をはじめ、多くの大学関係者と後援会の方々、そして安次嶺院沖縄県校友会会長を含めた多くの校友会の方々、両日とも出席ください、激励のお言葉をいただきました。感謝申し上げます。



創立30周年記念事業のメインは「自由を生き抜く実践知、長期ビジョン(HOSEI2030)について」という演題での田中総長による記念講演でした。分かりやすい言葉での話で、あつという間の1時間でした。懇親会では、田中総長の周りには人が途切れることなく、会話や記念撮影に快く応じておられました。締めは現役応援団の登場。明治神宮野球場とは違い、間近で見る演武は迫力十分で感動しました。最後に、輪になっての校歌斉唱でお開きとなりました。

※()内は子どもの名前/学部

40周年記念事業公開文化講演会と総会を終えて



福岡県支部長
岩崎 徳男 (雄大 / 人間環境学部)

8月20日(日)に、福岡県支部では40周年記念事業として「法政大学総長田中優子公開文化講演会」を開催しました。まずは、この事業の開催に当たり、ご尽力をいただきました中和夫後援会会長に厚く感謝し、御礼申し上げます。後援会本部、支部そして校友会本部、支部が一体となってこそ、初めて実現する事業だと再確認させていただきました。



2017年度 第40回 法政大学後援会福岡県支部 総会・父母懇談会

公開文化講演会は、ホテルオークラ福岡の600人が収容できる会場で開催しました。地元紙である西日本新聞社にも大変なご協力を賜り、朝刊2回、夕刊3回にわたって半5段広告を展開し、その他2回の記事と合わせて、計7回の新聞告知を行いました。これを実現したのも福岡県校友会会員の方々のご尽力のおかげです。心より感謝申し上げます。

法政大学や田中総長の知名度、そして地方では珍しい「東京六大学総長の講演会」と話題性に富んでいたのでしょう。会場が満席となるほど多くの方々にお越しいただき、大変な盛況でした。講演会に参加した皆さまには、九州北部豪雨災害募金にもご協力を頂き、金11万5639円也を義援金として寄付させていただきました。



富山県支部20周年総会・懇親会 (富山県校友会70周年合同開催)



富山県支部長
瀧澤 健治 (志貢 / グローバル教養学部 (GIS))

8月26日(土)、ANAクラウンプラザホテル富山にて第20回支部総会、父母懇談会が開催されました。総会では田中優子総長、中和夫後援会会長、松井幹夫富山県校友会会長ほか総勢10人の学校関係者の皆さまに出席いただき、議事進行など、滞りなく行われました。父母懇談会では、大学生生活の留意点や就職状況の説明を熱心に聞き入り、情報交換会では活発な質疑応答がありました。

また富山県校友会主催で、田中総長を座長とした「富山で活躍する女性たちの座談会」が行われました。女性ならではの視点から、さまざまな質問にお答えいただき、参加した女性は一様に感銘を受け、「参加して良かった、ますます総長のファンになった」と口をそろえていました。



懇親会ではオール法政の220人が参加。応援団やチャアリーダーも駆けつけ、会場は大いに盛り上がりました。全員で輪を作って歌った校歌斉唱は感動的でした。田中総長の著書や法政グッズの販売も好評で、法政大学のPRの一助となりました。



群馬県支部40周年記念事業を終えて



群馬県支部長
御園生 敏寿 (健汰 / 経済学部)

群馬県支部は、今年7月に創立40周年を迎えることができました。これらひとえに支部会員はもちろん、法政大学、後援会本部をはじめ、多くの関係者の皆さまのおかげと感謝しています。また、40年前に支部を発足した役員、支部の発展のため尽力いただいた歴代の役員の方々にも、心から敬意を表します。



2017年 法政大学後援会 群馬県支部総会・父母懇談会 田中優子総長特別講演

群馬県支部の40周年記念事業といえます。支部総会および父母懇談会において、田中優子総長による特別講演を開催いたしました。さらに、大学のエンブレム入りのオリジナルタオルを作り、全支部会員に配付しました。特別講演では、支部会員のみなさん、校友会や歴代支部役員などからも参加していただき、



2017年度 第40回 法政大学後援会群馬県支部 総会・父母懇談会

引き続き行われた懇親会においても、多くの関係者にご参加いただくとともに、法政大学ジャズ研究会の演奏が会場を盛り上げました。コミュニケーションと情報交換につながるよい機会となり、40周年にふさわしい賑やかな懇親会になりました。多くの関係者のご協力をいただき、周年事業は無事終了することができました。この貴重な経験を、次の役員に引き継ぐとともに、創立50周年に向けて、群馬県支部がますます活発な組織になるように、役員一丸となって活動していきたいと思っております。引き続き、皆さま方のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

法政大学応援団 成果発表会の参加報告



新潟県支部長
山田 昭治 (大地 / 法学部)

昨夏の新潟県糸魚川市に続き、今夏も新潟県弥彦村で、本学応援団が8月27日(日)から9月5日(火)までの10日間、強化合宿を実施しました。この合宿は東京六大学野球の応援を行う上でも必要不可欠なものです。



2017年度 法政大学応援団 成果発表会

強化合宿の終盤となった9月3日(日)、新潟市巻文化会館で成果発表会が開催されました。「子どもの母校は我が母校」の合言葉で結束する新潟県支部役員10家族19人は、応援団を応援するという事で気合が入り、校歌暗唱の準備を整えた上で、オレンジの法政カラーを身にまとい、校旗の小旗を持参して集まりました。他にも校友会の皆さまや、後援会のOB・OG、さらには一般の方々も多数駆け付けてくださり、開場時には長蛇の列ができていました。

第一幕では吹奏楽部が「オーメンズ・オブ・ラブ」「若い広場」「魔女の宅急便」「美女と野獣」の4曲を演奏。大変、心に響きました。第二幕では、チアGENIESが登場。「Rockie」「Blue」「Orange」「チア曲メドレー(虹/心絵)」の4ステージを、華麗に舞い踊りました。第三幕では、リーダーが「団旗紹介」から「勝利の第一拍手」までの6演目を見事に披露しました。リーダー紹介に当たっては、「○○高校出身!」とのアナウンスに対し、当支部の会員が「名門!!」と応えるコールもまた、練習の成果です。いづれの幕でも、ステージと会場が一体となり、大盛況の中、成果発表会は幕を閉じました。閉会後は、向井友祐団長と、城戸秋介リーダー長とともに記念撮影を行いました。

強化合宿に励んだ応援団の健闘をたたえるとともに、10月には明治神宮野球場のスタンドから、一緒に東京六大学野球の応援をしようと、固く心に誓いました。